

議会だより

No.101



軽井沢
KARUIZAWA

平成 25 年 11 月～平成 26 年 1 月会議

まちづくりを
語る会から

2p

一般質問に 8 人

4p-11p

会議の要点

12p-13p

保育園をたずねて

20p

ご意見をいただきました

議会では、本会議や委員会活動の状況などの報告と、議会と何でも話せる場とするために、「議会とまちづくりを語る会」を開催し、町民の皆さんと意見交換を行っています。今回は、10月30日から11月1日の3日間、3地区で開催しました。各会場で皆さんからいただいた多くの貴重なご意見を町側に聞いてみました。

中軽駅前 ロータリー

問 中軽井沢駅前ロータリーの一般車両進入禁止について、町と警察に要望書を提出したが、対応はどうか。

生活環境課長 公安委員会に確認し、町との協議の中で決めたことである。変えることもできるが、バスやタクシーと分けたのは、安全面と分かり易さからであり、送迎用は図書館側にある。安全性重視は、今の形態が良いとの見解で回答している。
委員会 使われ方、利用者の意見等を聞き、現地の調査を行う。

シルバー人材 を利用して

問 中軽井沢図書館で、塾などに通えない子ども達のために、シルバー人材などを活用して学習する場所を設けてはどうか。

防火用水

問 中軽井沢の用水に水が流れていない状況が長く続き、心配である。取水口の改修を行って欲しい。

消防課長 災害時には使用するが、防火用水の指定はしていない。
建設課長 夏の湯水期、

廃屋対策

水位が下がって流せなかった。常時流すことは、県と協議して研究する。

問 廃屋、特に別荘に関しては持ち主も分からず心配である。行政の対応は。
企画課長 空き家対策の検討をすることになり、庁舎内16名による老朽危険物対策検討委員会を設置した。

防災無線

問 町民全員が正確に情報を得られるように、防災無線の対策を早急にしてほしい。

消防課長 アナログからデジタルに向けて変更をしている。災害時の情報伝達としては、防災無線の他、携帯電話に配信できる緊急エリアメール、町広報車、消防団広報等考えて情報を伝える。放

検討中の 直売所

送局とのタイアップも検討する。

問 新しい直売所は発地に建設されるのか。噂がいろいろあり良く分からない。また、通年営業か。
答 発地に建設予定だが、詳細については、検討委員会と協議している。

新幹線の 延伸で

問 新幹線が金沢・富山まで延伸する。停車列車ダイヤ等について軽井沢駅長やJR等と話し合いや検討はしたか。早急な対応を望む。

企画課長 停車本数は乗降客数によって決定される。長野県協議会の飯山、長野、上田、佐久と連携しながら対応を進めている。



図書館側で送迎！?

多くの



自主防災組織

町 自主防災組織を作ったが、訓練や装備の補助について予算措置をお願いしたい。

消防課長 活動に必要な資器材の購入や普及の費用の一部を補助するための要綱を制定し、26年度から実施するため、25年8月に自主防災組織の代表者と女性防災会議委員によって必要なものについて意見を交換した。中軽新軽地区から要望のあったものは、26年度、県の補助に申請してある。

行政無線

町 「広報」、「チャイム」、「夕焼け小焼け」は音がしびれているよつで聞きにくい。

消防課長 アナログからデジタルへ移行中なので、機器の不具合で聞き苦しいことがある。電子音は変更できない。

スポーツ振興

町 子ども達のスポーツについて、ボランティアの協力を頼りすぎていると思う。町でも、コーチを雇うために、補助金を出すなどの考えはあるか。

教育次長 基本的には、任意で行うスポーツなので、行政が関与しない方向で考えている。

きのこ祭り

町 「追分きのこ祭り」はここ2年中止となった。放射能のせいだとは分かっているが、役場の方で何とかならないか。

住民課長 セシウムの値が高いので、町内のきのこについては難しい。



中軽区による防災運動会

交通渋滞

町 ツルヤ前の混雑の改善が見られないが、信号機の時間調整などは行われたか。

生活環境課長 商工会からも意見が出ている。警察と協議した。時差式信号は車線の関係で難しい。信号の時間調整もバイパスが渋滞しているので、効果が無い。

町道の補修

町 町道のマンホール6カ所の周囲が壊れ、車など損傷事故がある。改修をお願いしたい。

建設課長 対応済みであるが、同様の箇所があれば建設課まで連絡してほしい。



改修されたマンホールの周囲

スポーツ施設と 観光の連携を



佐藤 敏明

総務課長

スポーツと観光が連携をとり、来軽者の増加をめざす

問 風越公園一帯のスポーツ関連施設は、整備終了後、どのようなコンセプトをもって運営するの
か。

総務課長 来年度から、体育部門を町長部局の直下に移し、スポーツと健康分野を連携させる。

さらに、各種団体で連携・協働し、大会招致、プロスポーツ誘致をはかる。また、スポーツ施設を活用し、観光によるまちづくりの一環として、押し進めていきたい。

問 風越公園の施設と観光との連携は。

観光経済課長 各地で開催されたメディア、旅行会社向けの商談会に参加し、風越公園でのスポーツツーリズムを旅行商品に組み込んでもらうようPRをしている。

また、スポーツ合宿をPRできるパンフレットを作成し、さらなる来軽者の増加をめざす。

社会体育の発展を

問 平成23年6月、50年ぶりに議員立法により「スポーツ基本法」が成立したが、当町の取り組みは。

教育次長 風越公園を中心としたスポーツ施設の整備、町内小中学校のスポーツ施設の開放、中学校グラウンドの照明器具の設置を行っている。

また、各種大会や教室を開催し、町体育協会や各種競技団体への補助を行っている。

さらに、各種大会で優秀な成績を収めた競技者に、激励金の支給や遠征費の補助を行っている。

問 中学校の部活動が、学校体育から社会体育へ徐々にシフトしている現状をどう考えているか。

教育次長 教育改革推進委員会を立ち上げ、目標を掲げ協議を行っている。

目標の中に、「部活動の社会体育への移行」があり、専門部会において検討を行っているが、中学校の各部活動を取り巻

く状況にバラツキがあり、現状ではこの目標の達成は難しいとの判断に至っている。

今後、県教育委員会の方向性を参考にし、当町の地域性にも配慮した部活動の在り方を示したいと考えている。

問 小中学校の児童生徒の指導者は全てがボランティアに頼っているが、このままで良いと考えるか。

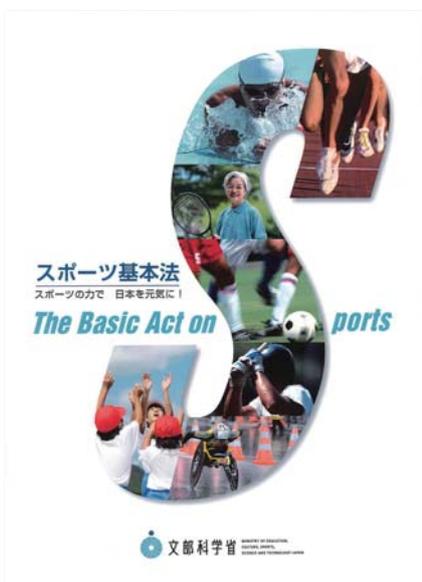
教育次長 小中学校のクラブ活動等の外部指導者は、必要に応じそれぞれの父母会が依頼している。外部指導者の必要性等、部活動により差があることで、一律に行政が負担し

て配置すべきではないと考える。

スポーツ団体等の一本化を

問 主に、町体育協会とスポーツコミュニティ軽井沢クラブの2つの団体が、町のスポーツを担っているが、事業や活動が重複する点が多いので、振興公社も含め、新たな団体として一本化できないか。

総務課長 一本化は難しいが、それぞれの組織には、共通・重複する部分があるので、それぞれの特性を生かしながら、連携、協力していけるよう働きかけていく。





土屋春男

渋滞の緩和及び 借宿バイパス線新設改良工事 ～ 町の取り組みは ～

建設課長

国や県と連携してバイパス整備をしていく

渋滞の緩和対策

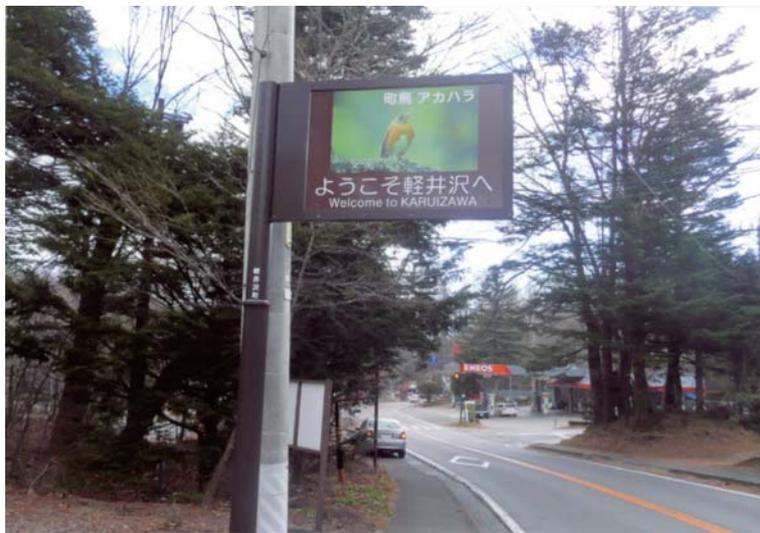
〇 道路情報の提供はどのような方法で行っているか。

生活環境課長 FM軽井沢で日本道路交通情報センターの情報、観光スポットを含む駐車場の情報

を提供している。また交通最適化対策の案内を設置している。

〇 交通案内板の有効活用は。

生活環境課長 平成18年に「美しいまち・ふるさと」の道再生モデル事業



迂回路案内情報板

として37基設置した常設看板を利用し、迂回路案内情報を4月下旬から11月上旬まで掲出している。

〇 連休時の渋滞緩和について具体的な取り組みは。

生活環境課長 役場の駐車場を無料開放し、しなの鉄道や自転車等の利用をすすめている。また軽井沢駅と旧軽ロータリーを往復する中心部シャトルバスの運行をしている。

借宿バイパス線 新設改良工事

〇 借宿バイパス線の工事は町の単独事業で行われるのか。

建設課長 社会資本整備総合交付金事業の交付を受けて事業を実施するの町単独事業でない。

〇 県道借宿小諸線と借宿バイパスとの接続部に対して県へ具体的な要望をしているか。

建設課長 県も町の事業にあわせて予算付けしている。通学路の確保等々

県に再三強く要望している。

〇 古宿への接続方法は現状のままが良いのか。改修は。

建設課長 既存の国道18号へ抜ける道路は国土交通省の管理になっている。この道路に関連して町に移管して道路改修の話をしたが、国のほうで管理を望んでいる。今後車の流れを見て必要があれば国へ要望していく。

〇 接続部の設計等はどうになっているか。

建設課長 横断工区は町が国土交通省長野国道事務所、設計から施工と施工監理までを委託して行う。

〇 大切な事業だがどのような思いがあるか。

町長 道路整備に関しては、中でも最優先して借宿バイパスの建設を行い、整備後の問題についてはその時点で解決していきたい。

土砂災害防止法による 警戒区域・特別警戒区域 の関係者への周知は



佐藤 幹夫

建設課長

26年の1月から3月にかけて、関係者に説明会を実施していく



町外でおきた急傾斜地での崩落

問 町内の警戒区域及び特別警戒区域の指定箇所数、また関係する地権者数は。

建設課長 現時点では、急傾斜地で警戒区域が716カ所、特別警戒区域が660カ所、土石流で警戒区域が136カ所、特別警戒区域が106カ所で、関係地権者は約8000人、1万5000筆が該当する。

問 関係者に対して、今後の説明会の開催予定は。

建設課長 町内を対象とした説明会を26年の1月から3月にかけて、長倉、軽井沢、発地、追分、茂沢の5地区に分けて、各1回開催する。また県外の説明会では、3地区に分け、1日2回の合計6回を開催する予定である。

問 特別警戒区域に指定されると、どのような規制、指導、勧告等がされるか。

建設課長 1、特定開発行為に対し、県知事の許可が必要となる。
2、居室を有する建築物については、構造が土砂災害を防止・軽減するための基準を満たすものとなっていないかについて、建築確認を受けることが必要となる。
3、特別警戒区域から安全な区域に移転する等の勧告を県知事ができる。
4、宅地建物業者は特定の開発行為において県知事の許可を受けた後でなければ、当該宅地の広告、売買契約の締結が行えず、当該土地または建物の売買に当たり、重要事項説明を行うことが義務づけられている。

移転される方の 支援措置は

問 県知事に移転勧告され、移転する場合の支援策は。

建設課長 移転勧告に基

づき家屋の移転、代替え住宅の建設、土地の取得等に必要資金に対する融資を受けることができる。その融資の利子および除却費用に対して補助金が支給される。町では、町内一括指定後に災害危険住宅移転事業補助金交付要綱を制定し、対応したいと考えている。

問 特別警戒区域に指定されると、財産価値が非常に低くなると思つが、固定資産税等の基準となる土地評価額の減額等は検討しているか。

税務課長 建築物の構造規制や特定開発行為に対する規制等が発生することから、その影響を考慮し、指定の翌年から反映できるよう、平成27年度の評価替えに合わせ、今年度より、土地評価替え業務等で県のデータからの当該地番の抽出及び補正等を、全国及び近隣市町村の動向を見きわめながら、検討作業をしている。



土屋 浄

再生可能エネルギー 利用促進にもっと力を

町長

新たな補助制度の導入を模索し促進をはかる

町長 町は「50、100年先を見据えた都市デザイン」を構想中だが、再生可能エネルギー利用促進をどう考えているか。

町長 積極的に進めるべきと考えている。現在の補助制度にとどまらず、技術開発に即した補助制度の導入を模索する。

町長 2年前の議会で町長が約束した「利用促進のプロジェクト」はどんな取り組みをしているか。

企画課長 直ちに職員12名で新エネ・省エネプロジェクト委員会（現在はスマートコミュニティ推進委員会）を作り、これまでに7回会議をもった。町の施設では役場、西保育園に年間約4万8000キロワット時超の太陽光発電施設を設置。アイスパークの冷暖房は地中熱利用と新規施設には積極的に利用策をすすめていく。エネルギーの自給率を高めながら新中学校での利用、融雪利用などを研究、検討した。結果がよければ、町民向けの補助事業を考えていく。



庁舎屋根に設置された年間約 35,000kwh のソーラーパネル

町長 木もれ陽の里の太陽光発電施設の設置を26年度から1年繰り延べした理由は、この種の事業はどうしても目先の事業に押されて後回しにされがちだが。

企画課長 まだ27年度と決まったわけではない。26年度予算のヒアリング、査定の中で実施する方向で希望はしている。

太陽光発電さらに普及を

町長 中部電力からの情報では、24年度の軽井沢からの買い入れ電力は、年間913メガワット（最大出力1500キロワット時）だという。メガソーラー1.5基分に相当するところまで来ている。さらに補助条件をよくして誘導を強めるべきでは。

企画課長 近隣他市町村より高い補助率なので、補助金増額は今は考えていない。

町長 町独自の取り組みとして広い空間を活用した大型の太陽光発電事業に取り組み考えはないか。また振興公社の事業でやれないか。

企画課長 町有地でメガソーラーを建設できる場所は見当たらないが、プロジェクト会議で話し合いは進めていく。

「福祉灯油」の実施を

町長 灯油価格がリッター100円超に高止まりしている。低所得者の負担は大変だ。灯油代を支給する「福祉灯油」を実施すべきと考えるが。

保健福祉課長 前年比30%の高騰があった場合は検討するが、今は実施を考えていない。

健康マイレージの導入を

保健福祉課長

研究していく



川島 さゆり



GOGO ウォーキング



GOGO ウォーキング プレミアムトークショー

問 人は、最後まで自分で歩き食べ排泄できれば幸福である。健康寿命を延ばす為にも健康マイレージを導入してはどうか。

※ 健康マイレージとは、健康診断の受診、スポーツ活動、健康講座への参加等でポイントを貯め、特典として商品券、食事券、体育施設券等の利用ができる制度。静岡県袋井市では、3歳から小中学生は、食育、挨拶、お手伝いを夏休み中に挑戦。15才以上はハガキに毎日の運動、食事と歩数を記録ポイント換算し、1ヶ月の累計を市へ郵送する。5ヶ月挑戦しポイントは自身で使うもよし、寄付（幼稚園、保育園、学校）しても良い。今では医療費、介護費共に抑制され成果が出ている。

保健福祉課長 町独自の事業の継続と県の保健補導員、食生活改善推進員を活用し、健康推進事業に取り組み。健康マイレージについては研究していく。

雑誌スポンサー制度の導入を

※ 雑誌の購入費をスポンサーに負担してもらい代わりに雑誌最新号のカバー表にスポンサー名裏に広告を載せる。

問 中軽井沢図書館所蔵の雑誌は、月刊、週刊等は何冊か。また年間購入費はいくらか。
教育次長 週刊2冊、月刊42冊、季刊24冊で合計

68冊あり年間購入費用は72万円である。

問 広告は、当町の実績からも注目度が高く、費用対効果、経費削減のためにも是非導入すべきでは。

教育次長 効果や応募企業等の調査をすると共に図書館運営協議会で協議検討する。実施するとなれば、広告掲載要綱の基準を考慮する。

要望相談の窓口一本化を

問 通学路、標識等保護者等の要望相談の窓口一本化ができないか。

教育次長 保護者からの通学路関係の相談は教育委員会で一括対応し、内容によっては、各課と連携体制をとり、保護者にも周知する。

住民課長 町民、住民からの要望等は住民課で対応し、各課と連携する。内容により、関係各課につなげる。



横須賀 桃子

子どもの心を豊かに 育むための環境づくりを

町長

子どもたちに課題を与え、考えさせる必要がある

問 現代の日本社会は、物質的には豊かであるものの、人間関係は希薄化傾向にあり、精神的には決して豊かであるとは言えない。そんな中、当町では子どもたちの心の成長をどう評価しているか。

教育長 大槌町を支援するために、四小中学校の児童生徒会役員が一堂に集まり、現地へ行くことを決めた際、運営を子どもたち自ら行った様子やスポーツ大会において町内のチームが一丸となってプレーする姿から、当町の子どもたちが健全に成長していると言える。

町長 現代社会において、家庭・学校・地域社会において、試練や我慢を子どもたちから取り去ろうとしているが、あえて課題を与え、子どもにどうしたら良いのかを考えさせる機会が必要である。

問 子どもは、楽しいこと・悔しいこと・悲しいことなど、多くの経験を通して心を育んでいくと思うが、町の具体的な目標はあるか。

教育長 ^{*}こぶし教育を目標としている。

問 始まったばかりのこぶし教育の評価は出ていないと思うが、他の評価制度はあるか。

教育長 各小中学校での児童・生徒と保護者等による学校評価制度がある。

問 学校に行っても保健室や会議室などで学習する子どもたち、まさに心の成長の中で葛藤している児童・生徒や保護者といった一番サポートを必要としている方々の評価についてはどのように考えているか。

教育長 教員と保護者との連携の中で、子どもにとって一番良い方策を考えている。

問 スクールサポーターや教育委員会も一生懸命努力をしているが、インターネット、チャット、携帯電話などが主流になり、人と人とのコミュニケーションが少ない今だからこそ、心の成長過程に重要な多くの経験や環

境を町で提供する必要があると思うが。

教育長 現在行っている体験学習だけではなく、農業を含めた産業を体験する中で、町の未来を担う子どもたちを育成するためにも、地域や組織の方々と連携をして環境整備に取り組んでいく。



子どもたちの輝く笑顔のために

※こぶし教育
こぶし心豊かに
ぶぶ文化を育て
し…自然を愛する

街並み景観に しっかりとした対応を



土屋好生

町長

あらゆる検討をして景観保持に努めていく



三重県伊勢市の
景観修景前と修景後



問 広告物の氾濫や、地域の状況を無視して出される看板や野外広告物は、町並みや景観を阻害し見る人に不快感を与えることになる。道路沿線など

を見ても、必ずしも町的重要綱が守られていない状況がある。こうしたことは、軽井沢のブランド力を徐々に毀損する可能性があると思うが。

町長 景観パトロール時の注意に従い下げた看板やワゴンを、監視の一行が行ってしまえば、またもとに戻ってしまうのが現状である。こうした現状を正していく必要がある。罰則に頼るのでなく良識を信じたいが、かなわなければ、課金制度やあらゆる検討をして景観保持に努めたいと考える。

問 自然保護対策要綱は、多くのメリットがあるが町民の合意形成をするという意思と仕組みに欠けている点があると感じる。今後、町民とのコンセンサスを得る方法についての考えは。

生活環境課長 指導状況の中で、町がだめと言うので仕方なくやめると言われるということが多々ある。観光協会、商工会を始め、町民の方、事業者の方が、自主的な組織の中で方向性を示していく形が本来の姿ではないかと考える。

**ルール違反の
実態調査は**

問 屋外広告物などの未許可や許可基準違反などルール違反の物件について実態調査を行っているか。

生活環境課長 実態調査は行っていない。良識ある事業者から、情報提供を受けたり町内をパトロールして、確認している。

問 情報提供を受けた後の対策方法は。

生活環境課長 営業行為の中で、交通安全上の問題は、道路管理者と警察も含めて現地の指導をしている。道路上の不法占用などの違反の広告物は、県条例により、その場で撤去をしてもらう。平成22年以降については、自然保護のための土地利用行為の手続等に関する条例で事前協議が必要であり、営業行為も含め要綱に抵触する看板など使わないよう、念書をとっている。



内堀次雄

平成26年度の 重点施策は何か

町長

「未来構想」をまとめ、農業と観光の振興をはかる

問 町長は立候補にあたり都市計画、産業など7項目にわたってご自身の政策として挙げられているが、任期の最後の年である平成26年度に今まで手をつけられなかった部分や特に強調しておきたいと考える重点施策は何か。

町長 都市計画においては、未来都市構想を26年度にまとめる。借宿バイパス線を計画的に進める。産業では、農業の活性化につなげるべく綿密な計画を立てて農産物直売所の整備を行う。NTTビルを観光の中枢機能として十分発揮できる施設整備と運用計画の策定。教育委員会管轄であるスポーツ部門を総務課内に移行し、住民サービスの向上を図る。役場の体制の中では職員提案制度を新たにスタートさせる。

問 町長の主張する町づくりの「環境先進都市をめざす」中で、新エネルギーの推進を図っているのに、実施計画にある太陽光発電事業が先送

りされるのはなぜか。

また、野生動物との共生を目指すところがあるが、借宿バイパス建設についてそれらの対策は。

町長 太陽光発電事業については、今建設中の体育館、これから建設する中学校、中部小学校の放課後子ども教室等の建物など新しく造っていく物に対しては、計画通り実施していく。

小動物が車に傷つけられないようなアニマルコリドーというような物も新たにつくるところは配慮していかなくてはならない。

会議都市推進に向けて

問 行政が主体となつての会議誘致は考えられないか。また、すでに実施されている会議事業に対して行政としての協力は。

町長 軽井沢での会議開催という潜在需要は、大きなものがあると思われるので、軽井沢なりのテーマの会議、軽井沢だからこそできるという物が必要。

来年は、世界アマチュアゴルフ選手権大会が当町で開催されるのでウエルカムボードなど用意して町全体で歓迎ムードを盛り上げていきたい。

オープンデータ 活用の研究は

問 行政が所有する様々なデータを誰でもが二次利用できる形で積極的に公開することにより、新たな価値が創造され住民サービスが向上、新しい

産業の創出が考えられるが、研究する考えはあるか。

企画課長 行政情報のオープンデータ化については今後、当町における行政の透明化、町民参加の推進、経済の活性化等を図る上での情報提供手段として検討課題の一つであると認識している。様々な課題も考えられるが、先進自治体の事例等から調査研究をしていきたい。



積極的な会議誘致を

新事業 スタート

◆12月定例会議 (12月5日から20日までの16日間で開催)

議案16件、請願1件、発委1件を原案通り可決・同意しました。請願1件を継続審査、要望1件を議長預かりとしました。

議案 (主なもの)

- ◎土地の取得 2898万円
- ◎町道借宿バイパス線新設改良事業に伴う用地
- ◎契約の締結
- ◎風越公園総合体育館一般備品購入 913万円
- ◎スカップ軽井沢トレーニングルーム備品購入 2308万円
- ◎変更契約
- ◎スカップ軽井沢他改修工事変更請負 2149万円
- ◎条例の制定
- ◎消費税法・地方税法の改正に伴う町関係条例の整理に関する条例
 - ・消費税が5%から8%にアップすることによる改正です。
 - 町関係では、次の料金等に関係します。
 - 水道事業 (水道料金、メーター使用料、施設使用料)
 - 公共下水道 (下水道使用料)
 - 農業集落排水 (使用料)
 - 軽井沢病院 (文書料、病室使用料、自動車使用料)
- ◎討論 (反対討論)
- ◎土屋正治 日本共産党は、消費税引き上げには反対しており、富裕税創設・大企業減税の廃止等で財源はまかなえるので原案に反対である。

(表決 賛成14、反対1で原案可決)

◎町営駐車場条例 条例の一部改正

・しなの追分宿駐車場から追分宿駐車場に変更する。

◎討論 (反対討論)

◎萩原宗夫 しなの追分馬子唄道中の折この駐車場は満車である。前の名称のまま为好い。

◎賛成討論

◎土屋正治 6月に名称提案、9月会議の議案質疑で町長は地元



軽井沢バイパスとの立体交差予想パース

いよいよ

借宿バイパ

のみなさんのご意見を参考に検討すると答えている。検討の結果だから原案に賛成する。

(反対討論)

土屋 浄 町はその後、地元の意見を聞いたり、3カ月間検討したというが、町側が深く検討した形跡が感じられない。地元からの異論もない。一議員の発言で変えるのはおかしい。よって原案に反対する。

(賛成討論)

神山 卓也 地元の意見を聞いたかという意見があったが、地元では「追分」という呼称で呼んでおり、観光客も、信濃追分駅前にある駐車場と間違えやすい。よって原案に賛成。

(表決 賛成13、反対2で原案可決)

議会側条例の一部改正

◎議会委員会条例

・平成26年4月1日より予算常任委員会と広報広聴常任委員会が設置されます。

補正予算 (主なもの)

◎一般会計補正予算

2億4718万円を減額し、総額149億8948万円

(歳入)

・社会資本整備総合交付金 7億500万円減額

(歳出)

・風越公園総合体育館建設工事 1億1550万円減額

・一般職人事管理経費 8521万円減額

・木もれ陽の里水中運動室歩行プール改修工事450万円新規

・見直しによる直売所新設計業務委託費他 1450万円減額

・住宅リフォーム補助 2500万円増額

・町道下東沢1号線(借宿)の鉄道南側)他新設改良工事に伴う用地購入 680万円新規

・信濃追分駅周辺道路新設改良工事に伴う物件補償 2300万円増額

・さわやかハット改修工事設計委託(軽井沢駅) 2000万円新規

11月定例会議

(11月18日の11日間で開催)

議案1件を可決し、報告2件を受けました。

補正予算

(主なもの)

◎一般会計補正予算1600万円を追加し、

総額152億3666万円

- ・(仮)中地区児童館建設工事設計委託 1830万円新規
- ・観光施設災害復旧工事 200万円新規



(仮)中地区児童館建設予定地

報告

◎専決処分

- ・車両損傷事故にかかる損害賠償
- ・交通事故にかかる損害賠償

消費税増税で どうなる

議案質疑

消費税法・地方税法改正に伴う町関係条例の整理に関する条例

佐藤敏明 保育料や町営住宅の料金も改正されるのか。

住民課長 町営住宅の使用料は非課税であること、また、保育料は町で料金設定しているため、料金改正はない。

土屋好生 町の施設の維持管理等に係る使用料や手数料に変更はあるのか。
財政課長 使用料や手数料の消費税は非課税なので、変更はない。

軽井沢町野営場条例の廃止

土屋浄 野営場の運営はどこになるのか。
観光経済課長 軽井沢町在住のNPO法人となる予定である。

市村守 町が所有するキャンプ用具などは、どうなるのか。

観光経済課長 行政財産から普通財産にし、不動産鑑定を行い、その価格で売却する。

内堀次雄 昭和46年から国の委託を受け、国有林の利用をしてきたが、新たにNPO法人が通年営業をすること、また、売却することについて、庁内でのような議論がなされたのか。

観光経済課長 現在は、



廃止となる小瀬野営場（町営から民間へ）

夏場の一月だけの営業だが、新たな運営者は通年営業を考えているので、利用者にとっての利便性が高くなると考え、売却の結論に至った。

横須賀桃子 現在、町内の小学校がキャンプに使用しているが、今後も使用できるのか。また、使用料金に変更はあるか。
観光経済課長 小学校の

利用は可能だが、使用料は新たな運営者が設定する。

風越公園総合体育館で使用する備品の購入物品

萩原宗夫 初度調弁備品はどういう形で決定されているか。

建設課長 設計事務所と建設課で検討した。



完成が急がれる総合体育館

スカップ軽井沢トレニングルーム備品購入

川島さゆり 利用者の年齢制限はあるか。また障がい者の利用も可能か。

建設課長 乳幼児の利用は無理だが、障がい者に限らず利用者の判断に任せる。

川島さゆり ほかの市町村は、障がい者の付き添いは無料だが、当町ではどうなるか。また、回数

券や定期券の考えはあるか。

建設課長 障がい者の付き添いは、無料であり、回数券も発行する。

佐藤幹夫 特殊な物であり、金額も2300万円と高額なため、県内の4社という少数の入札だが、他県の業者も入札に参加できるのか。

財政課長 県内の業者での指名参加を4社選定した。

風越公園の指定管理者は

本会議にて付託された議案11件（原案のとおり可決）、請願1件（継続審査）、他について審査した。

委員会での主な審査内容（質疑）

指定管理者の指定

篠原公亨 風越パークコートオペレイションは、振興公社とSC軽井沢の共同で、それぞれ独自の事業が展開されているが、**建設課長** 自主事業の中で風越パークコートオペレイションの共同で行っている事業もあり、振興公社、SC軽井沢での独自でやっているものもある。

篠原公亨 指導者はごに所属しているのか。
建設課長 それぞれ指導

できる職員がいて施設を使って事業を展開している。

総合体育館の備品購入契約

萩原宗夫 現場の人間や使う人たちの意見をしっかりと聞いて備品を決めていくのか。

建設課長 設計段階から関係者と十分に議して最終案になっている。

佐藤敏明 同等品でも良いということだが、メーカーごとに物品を決めることはできないか。

建設課長 入札の手続き上、物品を指定することは代理店等が限られてしまつことから適当でない。

《補正予算》 道路新設改良費の増額

修正動議

萩原宗夫 道路新設改良費だが、建設課長から実設計画にも載せてあるという話があり、調べてみたが、それらしきところがない。6月の全協で財政課長から説明があったという話だが、道路を造るのに財政の方から言わなければならぬのか。不自然に感じる。今回予算として計上されているが、不透明さが出てくるので、この道路新設改良費には反対で、一部修正を求めらる。

委員長 萩原議員から一部修正との討論があったが、修正の動議は2人以上になっていない。他に賛同する人がいないので、委員会としては、取り上げない。

「駐車場名の変更」案件で 活発な質疑、討論

賛成4、反対3で「しなの追分宿」
↓「追分宿」への変更を可決

委員会での主な審査内容（質疑）

しなの追分宿駐車場から追分宿駐車場に名称を変更する条例

土屋浄 6月会議で決定した案件をなぜ改正するのか。

観光経済課長 9月会議で一議員から指摘を受けたので、検討した結果である。

柳澤講次郎 「しなの追分宿」の名称で地元から異論が出たのか。
観光経済課長 異論は出ていない。

川島さゆり 「しなの」を冠することで、しなの鉄道から抗議があったか。
観光経済課長 抗議は受けていない。

討論

土屋浄 しなの追分宿駐車場でも問題ないので改正には反対である。

（賛成討論）

土屋正治 集落名は追分「しなの」は駅以外に使っていない。

（反対討論）

柳澤講次郎 6月会議で決定した名称を変更することは議会軽視である。

（賛成討論）

神山卓也 信濃追分駅にも駐車場があるので区別すべきだ。

（反対討論）

土屋春男 地元ではどちらかといえば「しなの追分宿駐車場」の方がいいという意見が多い。

採決の結果

委員長を除く4名が賛成、3名が反対で「しなの追分宿駐車場」から「追分宿駐車場」に改正する案は可決された。

他に当委員会では、条例の一部改正2件、補正予算3件の計8件について審査を行い、いずれの案件も可決した。



駐車場名を「しなの追分宿」から「追分宿」に変更

総務常任委員会 社会常任委員会 連合審査会

※ 今回の連合審査会は補正予算を2つの常任委員会で審査を行うものです。

なお、討論・採決は付託された委員会で行います。

土屋好生 掘辰雄記念館は大幅な歳入増だが、入館者はどのくらい増えたのか。

教育次長 4月から11月まで、1万8675人で前年度の約3倍となっている。

袖山卓也 災害対応備蓄品は、自主防災組織からの補助要望のリストはあるか。学校などへの備蓄のリストはできているか。

消防課長 自主防災組織の関係者を招集して、要綱を作成して決裁の段階



「風立ちぬ」効果もあり来館者が急増した堀辰雄文学記念館

である。要望のあったものは上げてある。

佐藤敏明 木もれ陽の里のプールのタイルは、前にも剥がれて直していると思うが今回2回目か。

保健福祉課長 7月12日に1回修理した。9月19日が2回目で約5平方メートル剥離したので修理する。

萩原宗夫 軽井沢駅の改札口の正面に看板を考えた方がよい。各種大会等の歓迎も出せるよう当初から予算計上が必要と考える。

町長 当町で各種大会、会議等が開催されていることを駅に来た人が見えるようにとの提言かと思う。駅の改修も必要と思われる。それに併せて検討してわかるような形でできたらと思う。

内堀次雄 住宅リフォーム補助関係で住居要件を加える事に検討することであったがその後の経過は。

観光経済課長 庁内で十

分検討した。この事業は5年の時限的なもので、3年が経過しようとしている。これまでに補助金を受領した方とこれからの方とに差異が生じることはまずい。これから申請する人に不利益が生じる改正は見合わせたい。

佐藤敏明 町道下東沢1号線他新設改良工事に伴う用地購入は当初予算1000万円の増額分か。また新たなものか。場所はどこか。

建設課長 地元の要望と地権者と交渉している中で、補正をしたものである。場所は、追分発地線、油井方面から来て、しなの鉄道の隧道の手前から左に入り、西地区の処理場の先に出る道路。借宿バイパス線の工事が来年から始まりこの道路が迂回路になる。

南村守 道路を造るのは地域等に良いが、大型車などが通行すると、道路の狭い地区の交通渋滞や事故が心配されるが。

建設課長 道路ができた

段階で地元から意見等あれば、公安委員会と交通係の方で相談する。

袖山卓也 さわやかハット改修工事設計委託とは。

建設課長 観光案内所は手狭で、待合室も不足している。ホール、待合室、観光案内所、トイレ、3階から2階に降りるラセン階段を利用して全体の見直しを予定している。



大がかりな改修工事が行われる軽井沢駅さわやかホール周辺

萩原宗夫 各種大会出場選手激励金は、どういう根拠で出ているのか。

教育次長 今回の増額は主にカーリングの国際大会等の出場選手が多かったことによる。激励金の金額については内規があり大会のレベルによって金額が決まっている。

先進地 視察をいかして

議会運営委員会 合同視察報告 議会改革検討特別委員会

平成25年10月17日(木)～18日(金)

千葉県 流山市議会

視察目的

- ① 議会中継システム機器関係等
- ② 議会ホームページのリニューアル等
- ③ 議会棟の無線LANの使用状況等

ICT化に向けて

報告 先進的なICTシステムを導入し、住民が議会から素早く分かりやすく簡単に情報を得るとともに意見の交換を図っている。

しかし、議会内へのICT化が進んでいるが、議員の中には機器などの取り扱いに慣れない人、議場内のパソコンの持ち込み並びに、インターネットへの接続が禁止となっているが、研修などにより議員の資質の向上を図り、ICTによる利便

性を多くに活用していく必要があると思う。ペーパーレス100%を目指してはいるが、場合によっては紙媒体の方が便利なためなかなか1

00%実施は難しい。いずれにしても、世の中はICT化に向かっており、議会のICT化はさけて通れない。色々なコンテンツを使い住民への公聴広報を図り、議会への住民参加・住民との協働のまちづくりを実現していかなければならない。



神奈川県 横須賀市議会

視察目的

予算決算常任委員会

予算や決算の チェック強化

報告 予算決算常任委員会(全体会)は、議長を除く全議員で構成し、委員会の下部組織として、部門別常任委員会(従来の4常任委員会)及び特別委員会に対応した分科会を設置し、予算決算議案等の詳細な審査、または調査を行っている。

予算審査と決算審査の違いについては、決算議案審査は、会計管理者の



報告を受けた後、監査委員からの報告を聴取し、質疑を行い、その後分科会へ送付するところにある。

常任委員会設置による効果としては、分割付託解消による円滑な議案審査が強化できること、また同一議員が予算決算審査を行うことによるチェック機能の強化、議案採決を行う本会議の開催時間の削減が考えられる。当町議会においては、2常任委員会であることから、下部組織としての分科会設置については検討する必要があると考える。

直売所検討委員会・議会合同視察報告

平成25年12月2日(月)～3日(火)

儘田克彦検討委員会委員長視察報告

軽井沢町直売所運営検討委員会では、委員の見識を広めることを目的とした先進地視察を、今回は町議会と合同視察として計画しました。

視察先は、観光型直売所で成功している「三重県伊賀の里モクモク手づくりファーム」そして、「何でもある、楽しい直売所」という、400坪の売り場で年間10億円も売り上げる農家の方のための直売所、伊那市の「産直市場グリーンファーム」です。

視察というところとして、行った先と自分の町との違いばかりに目がいきがちですが、直売所を通じて農業振興と地域の活性化につなげるために情熱を持った方と話ができたことも大きな収穫であったと思います。今回の視察で、「安全」

・「安心」・「新鮮」・「おいしい」多種多様な軽井沢ブランド（軽井沢霧下野菜）の提供によって、新設の直売所が新しい軽井沢の観光スポットとして魅力ある施設となるよう考えていきたいと思えます。

参加者名簿

〈直売所運営検討委員会〉

- 委員長 儘田克彦
- 副委員長 市村初仁
- 農業委員会 篠原静雄
- 観光協会 土屋芳春
- 観光協会事務局長 中澤 功
- 商工会長 袖山卓也
- 宮農協指導部農園課長 高橋吉紀
- 農協地域開発機構 大熊桂樹
- 直売所運営委員会 柳澤昌隆
- 直売所運営委員 市村 勉
- 農業改良普及センター 山寺宏晃

〈議会〉

議長他13名



特産品を生かしたバイキングレストラン

議会側 視察報告

視察目的 農産物の直売所をはじめ、レストラン、加工販売等の商品集積、施設の運営手法を調査、研究

三重県伊賀市
伊賀の里
モクモク手づくりファーム

報告 当該ファームは、職員数1000名（内正職員140名）、年商51億円という、質・規模において全国有数の直売所である。あらゆる面でスケールが大きく、これからの当町の直売所計画に何がし

かヒントを探れる施設であった。

特に年商2億円の売り上げを誇るパピアレストランを始め、数年ごとにそれぞれ目標を定め発展をとげてきた。

来場者数は年50万人で、名古屋圏、関西圏から多くの人を集めている。ここは、まさに観光施設である。

伊那市 産直市場グリーンファーム

報告 この産直市場は国内はもとより海外からの視察が多いのが特徴であり、地域の元氣と雇用の創出に大きく貢献している。

出荷農家数が2150軒もあり、全国の直売所でもトップクラスと思われる。農家で生産される野菜も陳列されているが、

日用雑貨をはじめ衣料品や骨董といった古物（中古品）なども置いてある。この直売所で扱っている商品は1万円を超えるというから驚きである。出荷農家が入荷時間に制限を受けていないのでいつでも持ち込める。農家の立場にたった配慮がなされ、支払いも週単位で精算しているのは参考にした。



野菜・くだもの・日用雑貨が置かれる陳列棚

平成 26 年

第 1 回 軽井沢町議会定例会を開催

第 1 回 1 月 10 日～ 12 月 22 日までの会期 347 日間

第 1 回議会定例会（1 月第 1 回会議）が 1 月 10 日に町長より招集され、会期の決定と議案 2 件を原案どおり可決し、報告 1 件を受けました。

1 月会議
(概要)

- 土地の取得について ● 訴訟上の和解について
- 専決処分の報告について（町道での車両損傷事故に係る損害賠償の額を定めること及びこれに伴う和解について）

平成 25 年の通年議会本会議・委員会等の開催日数

平成 25 年の議会は、第 1 回軽井沢町議会定例会 1 月 10 日～ 12 月 20 日までの 345 日間開催されました。本会議等の開催日数は、下記のとおりとなります。

名称	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
本 会 議	1	2	5	1	1	5			4		1	5	25
議会運営委員会	2	1	1	1	3	1		1	1		1		12
常任委員会(2)		2		1	2	2	1	1	4			2	15
連 合 審 査 会			1			1			1			1	4
特別委員会(5)	2	1	7	2	2	4	3	1	7	3		3	35
全 員 協 議 会	1	1	1	1	4	2	1	1	1	1	1	1	16
議 員 研 修	2				1		5			1	1	1	11
計	8	7	15	6	13	15	10	4	18	5	4	13	118

《平成 25 年 視察受入状況》

1 月 25 日(金)	山梨県甲斐市議会（議会運営委員会）
1 月 30 日(水)	千葉県芝山町議会（議会運営委員会）
2 月 14 日(木)	福島県西会津町議会（議会運営委員会）
2 月 25 日(月)	茨城県常総市議会（友和会）
6 月 28 日(金)	岩手県久慈市議会（創政会）
7 月 1 日(月)	群馬県中之条町議会
7 月 9 日(火)	山口県町議会議長会
7 月 23 日(火)	富山県舟橋村議会
7 月 31 日(水)	沖縄県座間味村議会
8 月 6 日(火)	長野県坂城町議会（議会改革等特別委員会）
8 月 7 日(水)	埼玉県鴻巣市議会（議会運営委員会）
8 月 22 日(木)	長野県豊丘村議会（議会改革検討委員会第 2 分科会）
10 月 30 日(水)	埼玉県三芳町議会（議会運営委員会）
11 月 6 日(水)	静岡県伊豆の国市議会（総務委員会）
11 月 7 日(木)	長野県松川町議会（議会改革推進委員）
11 月 15 日(金)	宮城県登米市議会（議会改革推進会議）

7 月 26 日(金)	福島県猪苗代町議会 （災害復興と防災対策に関する調査特別委員会）
8 月 16 日(金)	長崎県長崎市議会（市民クラブ）
10 月 8 日(火)	埼玉県鳩山町議会（福祉文教常任委員会）
10 月 8 日(火)	山梨県甲斐市議会（市民クラブ）
10 月 28 日(月)	愛知県幸田町議会（総合開発特別委員会）
10 月 31 日(木)	福岡県川崎町議会（総務常任委員会）

女性模擬議会の開催

【日時】 平成 26 年 2 月 6 日 (木)
午前 10 時より

【場所】 軽井沢町議会 議場

【内容】 提案型一般質問

傍聴
しましょう



中保育園と 子育て支援センター

元気な
子どもたちに!
をたずねて



中保育園は、未満児のひよこ組（0才児から1才児、2才児の2クラス）、年少のりす組、年中のうさぎ組（2クラス）、年長のきりん組（2クラス）の7クラスです。園児は133人、保育士は17人です。

園では、全クラスが、普段から「わらべうた」に力を入れています。こういった活動の後押しとして地元の「軽井沢お手玉の会」の皆さんの力をお借りし、伝承遊び「お手玉」「コマ」等、全園児に教えて頂いています。私が取材に伺った日は、「お手玉遊び」「縄跳び遊び」で元気いっぱい、楽しく遊んでいました。

「お手玉遊び」(12/13)



お手玉は、手の感触が温かく、数え歌を歌いながら脳と全身を使って遊びます。普段あまり経験のない手や腕を使いお手玉を通すという一見簡単そうな動きの中に、古き良き日本人が伝えて来た知恵や経験に改めて感動しました。「縄跳び遊び」は安全なゴムを使い、飛んだり、はねたり、這いくぐったり、楽しく全身を使って遊びました。本当に楽しそうで、こちらにもうれしさが伝わって来ました。ゴムを持つ係もさすがが年長さん、率先して代わりばんこに交替する姿は、成長を感じる一コマでした。

最初に取材に伺った日は「くろのの会」の方が読み聞かせに来て下さっていました。まず、手遊びで集中力を高めやさしい声で読まれるので、年少のりす組の子も一緒に声を出して読んでいました。1日で全クラスを回って下さり、「もっと読んでほしい」との声も。次回のリクエスト本も出るほど人気です。保育園の先

生方もいつもと逆目線で、園児の背中から参加ができ、大変に勉強になるとのことでした。

年間を通じて様々な行事がありますが、伝統行事や季節感あふれる行事を通して子どもたちは大きく成長しています。「卒園したお子さんがランドセルを背負って見せに来てくれることが、何より嬉しいんですよ」との言葉に成長を見守る温かいまなざしを感じました。園長先生をはじめ先生方が、保護者の方、地域の皆様の力をお借りし、園児の成長のために頑張っている姿に大変感銘を受けました。これからの中保育園の子どもたちの成長が本当に楽しみです！

子育て支援センター

登録者数146人で、保育士2人が、9時半から16時まで、対応しており、常時4、5組の親子が利用しています。「子育て講演会」「おはなしでてこい」などのイベントも開催。「子育てダイヤル」では、毎週火曜日10時から13時まで、助産師による電話相談があり匿名可能です。一時預かりでは、保育士不足で限界もありますが、保育園と一体施設なので保護者の方が安心してお子さんを預けられる場所となっています。



なかよし広場(10/15)
「新聞紙で遊ぼう!」

17組34人の親子が参加

(取材/川島さゆり)

編集後記

おめいじつごいづかいます

議会だよりを20日の発行に向けて年の瀬から新年にかけて編集作業をしてまいりました。

それぞれ担当するページの写真や記事の校正を正月返上の作業でありました。

議会を皆様知らせると言う使命感あふれた委員会メンバーです。今年も議会の全てをしっかりと伝えたいので宜しくお願ひいたします。

皆さまのご意見をお寄せ頂ければ幸いに存じます。

(萩原)

議長 篠原 公子
委員長 萩原 宗夫
副委員長 土屋 好生
委員 横須賀 桃子

川島 さゆり
佐藤 敏明
大林 義博

発行
平成26年1月20日
長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢町議会
〒389-0192
☎0267(45)8910
編集
議会広報編集委員会
印刷
有限会社東城印刷
☎0267(45)1710